

# けんぽQ&A

## Series61

Q 「歯周病」は、からだにどんな影響を及ぼすのですか？

A 「歯周病」のイメージは、歯・口腔内だけの病気と思いがちですが、ここ最近では、からだ全体に悪影響を及ぼす悪い感染症のひとつといわれています。

歯周病は、「関節リウマチ」・「脳梗塞」・「動脈硬化」・「糖尿病」・「ガン」・「心筋梗塞」・「肺炎」・「早産・低体重児出産」などを発症させる原因のひとつとされています。

歯周病からは想像もつきませんが、「歯周病菌」というものがからだ全身に行き渡ると、生活習慣病の発症と重症化に影響を与えてしまうことがわかってきています。

歯周病は、むし歯と違って「痛み」を感じないまま、最悪な状況まで進行させる感染症のひとつで、自覚症状が出たときには遅く、歯が全部失われてくるものです。歯磨きの際に、少し出血してたかなと感じたときには、是非歯科医院にて、歯科健診を受けてみてはいかがでしょうか？

被保険者・被扶養者の皆様が歯に関心を持っていただきたく、当健康保険組合でも7月より歯科健診・歯周病検査を実施しております。是非皆様のご利用をお待ちしております。

<http://hyogotoyota-kenpo.or.jp/>

